

Ultimate Sports SUS.Kit

アルティメットスポーツサス・キット No. MNC7960

取付・取扱説明書

AutoExe

A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8

TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ アルティメットスポーツサス・キット をご購入いただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種 ロードスター（NCEC）全車

■はじめに

- 1) 当製品は、本書に記載されている適合車種以外には取付けしないでください。
- 2) ご使用時には本書を必ず携帯し、安全にご使用ください。また本製品を譲渡する場合も、本書を一緒にお渡しください。
- 3) 初期不良品を除き、取付け後のクレームには一切応じかねますので予めご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、当社は一切の責任を負いません。
- 4) 本製品到着後はすぐに開封いただき、本書に記載されている内容物がすべて揃っているかを必ずご確認ください。
- 5) 本製品の改造、加工は製品の破損や事故につながる恐れがありますので、絶対に行わないでください。
- 6) ショックアブソーバー本体には高圧窒素ガスが封入されています。分解したり、高温の場所に置いたり、火中に投げたりすると爆発する恐れがありますので絶対に行わないでください。
- 7) 本製品を落としたり、ピストンロッドを傷つけないよう、取扱いは十分に注意してください。

■作業の方へ

- 1) 当製品の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方には自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、または当該経験者の監督下で作業が可能の方を原則とします。
- 2) 取付け作業はリフトやリジットラックを使用して、車両を確実に固定してから行ってください。ジャッキのみでの取付け作業は危険ですので、絶対に行わないでください。
- 3) 取付前には各調整機構部の締付けトルクチェックを必ず行ってください。これを怠ると各部に緩みが発生し重大な事故につながる恐れがあります。
- 4) 本製品の取付けは、必ず1台分セットで行ってください。どちらか一方のみを取付けると、車両バランスを大きく崩し重大な事故につながる恐れがあります。
- 5) 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ(株)発行の整備書を参考に作業を行ってください。取付け作業に適した作業場所および服装であること。また必要に応じて保護眼鏡、保護手袋などを着用してください。
- 6) エンジンやサスペンション周辺部品が完全に冷えていることを確認してから、取付け作業を開始してください。
- 7) 車体に不具合または製品取付け部位に改造が施されていないかを事前に確認してください。

■取付作業後の点検

- 1) 取付け部の位置ずれや緩み、また、各調整機構部の緩みやガタがないことを必ず確認して下さい。
- 2) ショックアブソーバー本体、ブレーキホースやABSセンサーハーネスなどが他の部品と干渉していないかを、ステアリングの握え切りやサスペンションの伸縮などを行いながら十分にご確認ください。また、走行前にブレーキの制動力に異常がないかを必ず確認してください。
- 3) 当製品を取付けることにより標準車より車高が下がります。必ずホイールアライメントとヘッドライトの光軸を調整して下さい。
- 4) 長期に良いコンディションでお使いいただくため、ナラシ運転(急激な操作を避けた街乗り走行)を100km程度行ってください。

■ご使用になる前に

- 1) 運転中に異常な振動、異音などを感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を行ってください。そのまま走行を続けると、車両の破損や重大な事故につながる恐れがあります。
- 2) 当製品を装着すると走行特性が大きく変わります。車両の動きに慣れるまでは、無理のない運転を行ってください。
- 3) 道路運送車両の保安基準に合致させるため、最低地上高を90mm以上必ず確保し、スプリングが遊ばない位置に各調整機構を設定してください。この条件を満たしていない場合は、整備不良として法律により処罰されますので、十分にご注意ください。
- 4) 本製品は走行性能を向上させるため、純正品と比較して乗り心地が変化したり、作動音(ショックアブソーバーのシュツシュツ音、キューキュー音、コトコト音)が発生したりする場合がございますが、機能上問題はありません。

■オーバーホール、メンテナンス

- 1) 当製品はオーバーホールが可能です。長くご愛用いただくために、日常の点検と、30,000km走行毎のオーバーホールによるメンテナンスをお勧めいたします。
- 2) 安全にご使用いただくため、取付け部の締付け具合、各部の損傷、オイル漏れの確認など、日常の点検を実施し、不具合が見つかった場合は、速やかに販売店にご相談ください。
- 3) 調整ネジ部は錆つき防止のため、定期的にクリーニングしてください。